

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶉 3-70-7

TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2018.3

ふるさと納税

先月号でもお知らせしましたが、今年の確定申告、もしご要望をいただければ、今年の申告内容（申告分離課税分の所得は除きます。）で、いくらをふるさと納税したら、損得点になるかを、申告書に押印をいただく際に分かり易くお知らせします。

職員にお申し出ください。

法人登記

法人登記の際、今年の3月12日以降、会社名のフリガナを求められることとなります。国税庁の法人番号検索にも適用されます。

あれこれ

2月3日（土）と4日（日）と山代温泉に行ってきました。雪の天気予想が怪しく、いかななものかと危惧したのですが、ノープロブレムとの若い者たちの冷やかな対応に押され、ついに行きました。おかげさまで雪は大したこともなく、楽しい旅行となり、「年寄りの冷や水」、「老いたら子に従え」かと思っていたのですが、その翌日から、特に火曜日の北陸のニュースで、自動車が1500台も雪で何十時間も立ち往生とあり、震えあがりました。

「ここ自動車で走った。」と思うと、ぞっとします。危機一髪でした。

運がよかっただけ、年寄りの意見も大切、と意を強くしたところです。

関ヶ原の合戦、当時の石田三成と徳川家康の各武将たちを味方に取り込むための書状、徳川家康のものは150通ほどあるそうですが、石田三成のものはたった4通しか残っていないとのこと。戦いが終わって、石田三成からどのような書状を貰っていたか、徳川家康側に知られたら大変と、皆が焼却処分してしまったからと思われる。敗軍の将の言い分は、資料としても後世に残すことはできないようです。



磯田道史（歴史家）さんの本によると、関ヶ原合戦のあと、上杉家の直江兼続を死罪にしなかったのは、関ヶ原合戦に勝ったからと厳罰主義で臨むと、他の武将が震えあがって、わが身を守らんと、再び、豊臣家と結束して、一大合戦になることを恐れたためだと言います。島津家に対しても、取り潰すために九州に軍を送らなかったのは、まだまだ豊臣家が強く、背後を突かれたら一溜りもないからだと言います。ですから、その時、島津家をつぶしておけば、明治維新の際、幕府は薩摩長州に壊滅させられることはなかったのにとの話は、その時その時の事情を無視した話です。

徳川幕府は、その後、木曾三川の治水工事、有名な宝暦治水で、薩摩藩の財力を削ぐため、苛め抜きます。（昔、有線で、森繁久彌の朗読劇で、聴きいってしまって、動けなくなってしまった

おぼえがあります。苦境にもがき憤激した薩摩藩士の思いを「腰のものにて怪我」で片付けていかざる得ない家老の思いは圧巻でした。)

昔、美濃市は手すき和紙の職人で生計を立てていた人が多くいました。時代の流れにより、それでは生活できなくなり、県の試験場の指導員が、関の刃物産業が活況でしたから、研磨の仕事をしたらどうかと持ちかけました。それにより多くの手すき和紙の人たちは研磨の仕事をするようになり、一息つくことができるようになりました。

しかし時代はさらに流れ、関の刃物産業も国際競争にさらされ、研磨の仕事も難しい状態になってきました。さあどうする。そんな時、昔、県の試験場の職員が研磨の仕事をお勧めしたことについて検証するという話が持ち上がりました。

その仕事を受けたコンサルタントさんは、「当時の県の試験場の指導員が、世の中の推移により、将来、研磨の仕事がどうなるかを見極めずに多くの職人たちに勧めたこと、遠い将来を見越すことができなかった当時の指導員に問題がある」と結論付ける報告書案をまとめました。

雑談の席でその案を聞いた私ともう一人の人が「ちょっとまで。」と言いました。「研磨の仕事に替わって、当時、困窮していたその人たちは、よい思いをした時があったのだろ。設備投資の借金で首が回らなくなったという話ではないのだろ。だったら、当時の指導員の選択、その指導力は素晴らしかったのではないか。

いつまでもその仕事がよいとは限らない、時代の流れでまたダメになるときがある。その時に、またどう転換していくか、それはその時点で、その時の本人または県の試験場の指導員が知恵を絞ることで、その怠慢を過去の人たちの功績にケチをつけることで逃れるのは間違っているのではないか。」と反論しました。

たぶん、和紙の仕事から研磨の仕事に移って、喜んでいて感謝していたはずの人の中に、時間が経って研磨の仕事がダメになってきたときに、「またダメになった、こんなものを勧めよって。」と不満を漏らした者がいたのでしょう。本当は自分で考えて決断することなのですが。それを行政が受けて、このような話になったのだと推察しますが、何十年先まで見越して、指導せよなどと責任を問われたら、誰も、何も言わなくなるでしょう。

人はその時その時しか責任を負えないのですから。

平昌冬季オリンピック、なかなか魅せましたね。

その中で、日本人がメダル取った後に流れるコカ・コーラのCM、これも見せましたね。

綾瀬はるかが、コカ・コーラで乾杯、とやると、つい無性に飲みたくなって、夜中でも自販機まで買いに行きました。



今年のぎふ梅まつり、3月10日(土)と11日(日)です。

私は、梅まつりそのものを楽しみにしているというよりは、梅まつりの時に開放される瑞龍寺の紅梅が楽しみなのです。その日に咲いていれば、目の前で見事な紅梅を見ることができ、咲いていなければ、イメージしながら枯れ枝を見るだけです。そして咲いているときに門越しにのぞき込むだけです。去年は見られたと記憶しています。今年はどうか。



春はあけぼの やうやう白くなりゆく山ぎは 少しあかりて
むらさき立ちたる くものほそくたなびきたる (「枕草子」清少納言)